

指導略案（ミーティング用）

日時	平成23年12月14日（水）（5）校時 13:20 ~ 14:10	指導者職氏名	T1 教諭 川上久枝 T2 教諭 隅田昌哉
場所	中学部2・3年	指導形態	学級
中学部2・3年			
教科・領域名等	美術		
単元・題材名	クリスマス飾りを作ろう	第	3 / 3 時
本時の目標	飾りを作成し、グルーガンやボンドを使用して作品を完成させる。		
前回の授業からの改善点	それぞれが違う飾り作りなので、友達の制作するものを知る。		

過程	時間配分	学習過程	指導上の留意点	準備物
導入	5分	1 あいさつ	※当番が大きな声であいさつをする。	マカロニを付けた丸いリース・グルーガン・ボンド・市販のリボン等の飾り・小さく切った色画用紙・アルミが貼ってある厚紙・キラキラ紙に両面テープを貼ったもの・発泡スチロール球・中に仕切りのある箱・プロジェクター・絵本
展開	40分	2 季節の行事について知る。 3 本時の流れについて知る。 4 グルーガンの使い方について知る。 5 飾りを作る。 ・ クリスマスをイメージした絵を描く。 ・ アルミを貼った厚紙を星型の型にそってはさみを使う。 ・ 両面テープを貼ったキラキラの紙の上に発泡スチロール球を手の中で握る。	○絵本とカットでクリスマスのイメージを知る。 ○パワーポイントと写真で本時の流れを知る。 ○力の入れ具合を自分で加減できるように支援する。 ○見本を見せる。 ○工程の写真をもう一度見直す。	
まとめ	5分	6 作業の後片付けをする。 7 評価 8 本時の振り返りと次時の予告 あいさつ	○整理の見通しが持ちやすいように、道具類を片付ける写真をカゴの底に貼る。 ※頑張った所を一人一人発表させる。 ○自分で言葉が出にくい生徒には、本人の言葉で答えられるような問いかけをする。	

反省・気づき等

美術の学習において自分を思い切り表現できたか。今後は生徒の活動量を増やすようにしていきたい。グルーガンなどの道具の使用は休憩時間なども使って、思い切りやすようにしたほうがよかった。モデルを見ながら作業するのは、どうかなあとの話が竹林地先生よりあった。シンボルマークは、動詞で使うよりは名詞のほうがよいことを学んだ。